



HANDA CUP 第53回全日本女子プロボウリング選手権

12月16~18日 東大和グランドボウル

大トリも姫路!

驚異の公式戦5連勝& V30で異例のシーズン締め

2021年JPBA公式戦の掉尾を飾る女子プロ頂上決戦「第53回全日本女子プロボウリング選手権大会」は、「絶対女王」姫路麗(33期・フタバボウル)が2年ぶり6度目の戴冠。驚異の公式戦5連勝で早くも通算30勝の大台に乗せ、コロナ禍で2年くりとなった異例のシーズンを最高のカタチで締めた。(共催：(公社)日本プロボウリング協会／一般社団法人国際スポーツ振興協会)

◀再優勝決定戦にまで持ち込まれたものの、最後は経験値の差で新人の堀井をねじ伏せた姫路に、会場で見守っていた師匠の北野周一郎が祝福の花束を贈呈

たった5連発スタートの堀井に逃げ切りを許し、姫路戦までたどり着くことはできなかった。

一方、勝ち上がった堀井は優勝決定戦でも堂々たるボウリングを展開。準決勝9Gを姫路と同じボックスで投げたこともあってか緊張した様子はなく、終始リードを保って10フレへ。1投目をノーヘッドの7本カウントとし(スペア)、姫路がパンチアウトなら逆転負けがプレーオフという可能性もあったが、姫路の2投目は⑥⑦⑩のスプリットとなり、勝負は再優勝決定戦に持ち込まれた。

「正直アセった」という姫路だが、「あのスプリットは大した投げミスではない。使っていたラインが遅くなっている」と見極め、再決定戦では内に寄って対処。結果的にはこの判断が奏功する。

対する堀井は、前述のノーヘッドが「コンディションが変わってきたせい」と気付きながら対処が遅れてしまう。大金星の初優勝が見えてきたこともあってにわかに緊張し、再決定戦序盤は力んで内ミス、外ミスを連発。それでも5フレから5連発を決めて必死に追上げた

が、ノーミスで優勝決定戦を上回るスコアをマークした姫路には及ばず、最後はビッグフォーで力尽きた。

「自力で勝った感じがしない」ながらも、公式戦5連勝の姫路。コロナ禍で2年くりとなった今期は17戦8勝の荒稼ぎで、通算勝利数を早くも30の大台に乗せた。

今大会を最後に、姫路は長年所属したフタバボウルを離れ、フリーとして新たなボウリング人生を歩むという。会場に



◀初出場の全日本で女王・姫路相手に大健闘の準V。それでも堀井は「優勝決定戦まではあまり緊張しなかつたけれど、右レインのオイルが延びてきてから分からなくなつてパニックになり対処が遅れて負けてしまった」と悔しさをにじませた



▲しばらく不振続きだった坂本が全日本の大舞台で復調を感じさせる3位フィニッシュ。「自分にとっては投げやすいレーンでした。(4位決定戦の)290は自信になります」

は姫路と同じウェアを着込んだ同センター発のファンクラブ「チーム麗」のメンバーが連日詰めかけ、一挙手一投足に熱い視線を送っていた。

公式戦5連勝にV30到達の偉業を重ねた今回の優勝…2年ぶり6度目の全日本制覇は、その応援に報いる何よりのプレゼントとなった。

予選・準決勝の33Gでマイナススコアはわずか3G。トータル7604(230.42AVG)と姫路は一人別次元のボウリングで悠々とトップシードを獲得。2位には予選最終Gで自身初のパーフェクトゲームを達成した今年デビューの新人・堀井春花が食い込み、3位・坂本かや、4位・霜出佳奈の4人が決勝ステップラダーに進出した。

ちなみに、前年覇者の小林よしみは総合56位。その小林にトップシードで敗れ、雪辱を期して今大会に臨んだ松永裕美も同38位と振るわず、ともに予選で姿を消した。

坂本VS霜出の4位決定戦は、坂本が2フレから11連発の準パーフェクトで、7フレ③⑥⑩をオープンとした霜出に完



◀「2019年のシーズンがボロボロだったので、やっとここまで戻ってこれたという安堵感と同時に、ここまでこれたからこそ感じる悔しさもある」と4位の霜出

勝。坂本のストライクラッシュは3位決定戦の2フレまで続いたが、⑩ピンを残した3フレでまさかのカバーミス。これがた

優勝・姫路麗のコメント

堀井プロに1ゲーム目(優勝決定戦)と同じボウリングをされていたら負けていました。堂々と投げていたし、レーンも合っていたので。想像ですけど、「次勝てば優勝」というのが見えた瞬間に、力んで投球がおかしくなった気がします。

優勝決定戦に臨むまでは「絶対に負けない、勝つんだ」という強い思いでいたけれど、坂本プロの290と堀井プロの255の勝ち上がりを見たら、私はそこまでこのレーンでは打てないと分かっていたので、とても怖かった。結果的には堀井プロ



口のビッグフォーで私の勝ちが決まりましたが、最後まで自信はなかったです。

30勝できたことは信じられないです。ボウリングが上手くなってからのことより、上手くなかったころの記憶のほうが鮮明なので。会場で見えてくれ

た(師匠の)北野プロも驚かれています。私自身も驚いています。

フタバボウルを離れて、新年からフリーになります。同じタイミングでP★リーグも卒業して、ボールメーカーさんとの契約もしません。どこにも偏らず、業界のみなさん全員と平等のお付き合いをしたい。何でも自由に自分で決められる環境に身を置いて、新たな気持ちでがんばります。とりあえず、次はオールスターゲーム(2月12・13日/北小金ボウル)での優勝…公式戦6連勝を目指します。

優勝ボール：ゼン・マスター(900GLOBAL)

●決勝ステップラダー



●再優勝決定戦

姫路 麗	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
19	39	69	98	118	138	168	197	217	237	

●優勝決定戦

堀井 春花	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8	8	1	6	7	2	5	6	7	8	8
18	27	44	53	83	113	143	169	187	195	

姫路 麗	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	2
20	39	59	89	118	138	157	177	204	223	